

作成日 2025 年 7 月 1 日
(最終更新日 2025 年 7 月 18 日)

課題名：同一臨床検体から発育した基質特異性拡張型 β -ラクタマーゼ (ESBL) 産生 *Salmonella* spp. と ESBL 産生 *Escherichia coli* における遺伝学的背景を解析することを目的とした多機関共同研究

1. 研究の対象

がん研有明病院に入院された方のうち、西暦 2024 年 8 月 1 日から西暦 2024 年 9 月 30 日までの期間に、同じ培養検査から ESBL という酵素を産生する大腸菌と、同じく ESBL を産生するサルモネラ菌が同時に検出された方。

2. 研究実施期間

研究実施期間：研究許可日～2026 年 12 月 31 日

3. 研究目的・方法

ESBL を産生する大腸菌とサルモネラについて、それぞれの菌の性質を解析し、治療経過についてカルテの情報を使って調べます。

使用する研究費はがん研有明病院・院内感染対策部の費用です。

外部との経済的な利益関係等によって、研究で必要とされる公正かつ適正な判断が損なわれる、または損なわれるのではないかと第三者から懸念が表明されかねない事態を「利益相反」と言います。本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

集める情報としては、年齢、性別、基礎疾患（悪性腫瘍）と進行度、入院期間と入院病棟・担当診療科、他院入院歴、手術歴、内視鏡検査実施歴、その他の侵襲的処置の実施歴、抗菌薬投与歴、細菌検査歴、治療薬・治療期間、治療反応性（予後などを含む）を使用します。

5. 外部への試料・情報の提供

収集された上記の情報が、他の機関へ提供されることはありません。

6. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

利用開始予定日：研究許可日～2026 年 12 月 31 日

7. 研究組織・研究責任者

共同研究機関

研究機関名	所属	研究者氏名	役割
がん研有明病院	感染症科	大串 大輔(研究責任者)	研究代表者
	臨床検査センター	竹花 和美	分担研究者
	臨床検査センター	山田 早苗	分担研究者
	臨床検査センター	及川 志織	分担研究者
東邦大学医学部	微生物・感染症学講座	原田 壮平(研究責任者)	分担研究者
	ウェルビーイング地域共創講座	小森 光二	分担研究者

8. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：がん研有明病院 感染症科 大串 大輔
住所：東京都江東区有明 3-8-31
連絡先：03-3520-0111（大代表）